

10年先にも続く自信を育てたい 卒業生からのエール



この春
ドクターになります!



10年前の金城くん・授業風景

琉大医学部 6 年生

ウルマ1期生 金城朋弥くん



Q：ウルマで得たものは？

ウルマでは勉強する姿勢を習慣を付けさせてもらいました。自分から他の塾や習い事を、継続してやれていたかって言ったら中途半端だったと思います。ウルマでは他県の入試問題とかを解いたり、球陽高校の付加問題みたいなのがあって、それをやりたくてやったって感じなんで、そこまで引き上げてくれた。勉強って意外と楽しいなっていう事を教えてくれたのは、ウルマのおかげだと思っています。

Q：将来はどんな医師を目指しますか？

一番楽しい事って言うのはやっぱり人に認められる事。人の役に立つのが自分にはあっているのかなってやっぱり思っていて、その中でも地元密着したお医者さんになればなって思ってます。無責任に相手のためにならない事を言わないような医者になりたい。なのでどんな科でも、ある程度は専門家に繋げるところまでは持っていけるような、そういう責任感のある医者になりたいと思ってます。

分かりやすく言うと研修医の2年間で、飛行機の中で「お医者様はいませんか？」的な場面に出くわした時、自信を持って手を挙げられる医師になることですね。

Q：10年前を振り返って、ウルマの思い出は？

第一印象はアットホーム！確か、僕たちが初めて体験授業に行ったときに冷たい麦茶が出てきたのを覚えています。(笑)とにかく楽しく勉強出来そうだなって思って、みんなで入りました。その時までは机にかじりついて勉強する習慣がそもそもなかったので、みんなと一緒に難しい問題にもチャレンジするというか、楽しくやりながらだけど、授業中にスイッチ入れればやる時はやる！っていうウルマのスタイルが自分にはとっても向いていたなって思います。